# 実りある留学生活を送ろう

## 新入生歓迎会・オリエンテーション

「新入留学生歓迎会及びオリエンテーション」が4月13日、生田キャンパスで開催された。

今年度は中国、韓国、ベトナム、マリなどから学部生、大学院生合わせて109人が入学した。

国際交流センター委員や先輩留学生、国際交流会SHIPの学生も参加し、学業、生活面についてアドバイス、新入生を囲んでグループ懇談会などが開かれた。その後「蒼翼の間」に会場を移し歓迎会が開催され、会食しながら交流を深めた。

最後に新入留学生を代表して表顯（ヒロヒロ）さん（経済1、韓国）があいさつを行った。「念願だった専修大学に入学することができた。留学生が互いに学びあい、実りある学生生活を送り、国際的な社会知性の開発を目指したい」と力強く語った。

和やかに歓迎会＝蒼翼の間

## 大江氏に感謝状

### 多額寄付

学校法人専修大学の「専修大学創立140年・石巻専修大学創立30年記念事業募金」に多額の寄付をいただいた大江一明氏（昭56法）に日髙義博理事長が感謝状を贈った。

大江氏は外資系金融機関に勤務する日髙ゼミ4期生。4月25日、夫人と共に神田キャンパスを訪れ、日髙理事長ら法人役員と懇談。「寄付は専修大学経済支援奨学金募金と箱根駅伝出場応援募金に役立ててほしい」と話した。

感謝状を贈られた大江氏（中央）

### 選挙結果

▽宮崎県木城町長選挙（4月16日無投票）半渡英俊氏（はんど・ひでとし＝昭51法）再選

▽東京都大島町長選挙（4月21日投開票）三辻利弘氏（みつじ・としひろ＝昭53商）再選

▽東京都渋谷区長選挙（4月21日投開票）長谷部健氏（はせべ・けん＝平8商）再選

## 専大校友を訪ねて

### 帝京平成大学 硬式野球部コーチ 河野（こうの） 和洋（かずひろ）さん（平9商）

## ―日米でプレー　念願の指導者に―

千葉県市原市にある帝京平成大ちはら台キャンパスのグラウンドは人工芝が輝き、ボールを打つ快音が春空に響く。日米での野球経験が買われ、今年2月から千葉県大学野球リーグ2部の同大硬式野球部のコーチに就任、120人を超える部員のバッティング指導をする。

「目標は1部に上げ、全国大会に出て、母校・専大に勝つチームにすること」。日に焼けた顔をほころばせた。

1992年夏の甲子園で明徳義塾高投手として出場。星稜高の松井秀喜選手をベンチの指示で5打席連続敬遠したことが当時、大騒ぎになった。

専大では長距離バッターとして鳴らし、主将も務めた。プロ入りを希望したがかなわず、社会人野球のヤマハを経て24歳で米国へ。北米独立リーグのセントポール・セインツなどでプレーし大リーグを目指したが、チャンスは巡ってこなかった。

帰国後、千葉県のクラブチームの選手兼監督としてバットを振った。2016年、42歳で選手を退き、指導者を目指した。18年12月、プロ野球経験者が学生野球の指導者になるための研修を受講した。海外のプロ経験者は対象外だったが昨年から受講可能に。念願の指導者資格を得た。

幾多の挫折を味わったが、苦労話にはしない。

「野球指導者になるための〝引き出し〟を増やしてきたと思っています」

人との出会いが糧になった。特に、明徳義塾高の馬淵史郎監督、松井さん、そして専大時代のチームメート黒田博樹さん（平9商）。「3人とも目標に向かってトコトン努力する」。それは自ら実践してきたことと重なる。

通算5年いた野球の本場・米国では、厳しい実力主義の中で鍛えられた。野球人としてだけではなく人間としての幅を広げた。「経験で得たものを学生たちに伝え、科学も取り入れる新しい野球を目指したい。一緒に勉強です」。新たな目標に声が弾む。

## 校友会情報

### 代議員会開催

▽6月15日（土）15時～▽神田キャンパス303教室問校友会事務局☎03・3265・7579

〈校友会幹事会〉▽5月24日（金）18時30分～▽神田キャンパス6号館5階会議室問校友会事務局☎03・3265・7579

〈横須賀支部総会〉▽5月24日（金）18時30分～▽京浜急行汐入駅から徒歩8分「よこすか平安閣」問吉田康志氏☎046・825・3385

〈岐阜県支部連合会総会〉▽5月26日（日）10時30分～▽JR岐阜駅から車5分「ホテルグランヴェール岐山」問大森康二郎氏☎090・3308・0146

〈筑波銀行鳳会総会〉▽6月8日（土）14時～▽神田キャンパス「報恩の間」問中山義章氏☎090・7257・3487

〈足立支部総会〉▽6月8日（土）17時～▽JR北千住駅から徒歩5分「銀座アスター千住賓館」問有賀裕範氏☎090・5570・2205

〈伊予おおとり会総会〉▽6月15日（土）18時～▽JR松山駅から車10分「国際ホテル松山」問河野弘氏☎089・923・1622

〈厚木黒門会総会〉▽6月16日（日）18時～▽小田急線本厚木駅から徒歩5分「レンブラントホテル厚木」問和田治美氏☎090・9011・0913

〈兵庫支部総会〉▽6月23日（日）16時～▽JR神戸駅から徒歩3分「湊川神社楠公会館」問武田克之氏☎090・2068・9223

## 専修人の新しい本

### 甲子園で勝ち上がる 全員力

中村好治著

著者は、2014年夏の甲子園で三重高を準優勝に導いた中村好治・前総監督（昭51商）。決勝では強豪大阪桐蔭高と熱戦を繰り広げ、3―4で惜敗した。1回戦から決勝戦までの計6試合、ベンチ入りした18人のうち17人を試合に起用し話題になった。

本書で中村さんは、甲子園で準優勝の原動力となった「勝つための全員野球」とは何かを説く。

普段の練習でも約100人の部員全員に同じ練習をさせ、練習試合に出る機会も平等にする。選手に「ベンチ入りしたいなら絶対に誰にも負けないなにか一つを持て」と諭す。公式戦でベンチに入れなかった部員も納得して声援を送る。こういった選手主体の全員野球がチーム全体の力を高めることになった。

「選手それぞれの良さを引き出すのが監督の役目。高校生たちに、野球を通じて一人の人間としてどうあるべきかを教えたい」と語る中村さんは、4月から愛知啓成高の監督に就任。新たな挑戦が始まった。

（竹書房・本体1600円＋税）

＜校友＞

## 「大学史紀要第11号」発刊

『専修大学史紀要』第11号が発刊された。本学大学史資料室編。

講演録では、2018年2月に行われた日髙義博名誉教授・理事長の最終講義「共犯の基礎理論」を掲載。また、永江雅和経済学部教授による生田キャンパス開設70周年記念講演「小田急沿線の近現代史」を採録した。

18年11月に急逝された大学史編集主幹の高木侃元法学部教授の追悼文を坂誥智美法学部准教授が寄せている。

このほか、サテライトキャンパスで開催された特別展示「学びのまち　多摩区の源流をたずねて―小田急線の開通と生田界隈の変容―」の模様を写真で紹介。本学に寄贈された学徒出陣関係資料も掲載している。

大学史紀要は希望者に配布する。別途郵送代が必要。

問大学史資料室☎03・3265・5879

## キャンパス情報

**実践！　車いす体験講座（前期）**

座学と車いすの介助や乗車を体験し、介助方法を習得する。

▽日時＝5月18日（土）10時～正午

**実践！　アイマスク体験講座（前期）**

実際に白杖とアイマスクを装着し、大学構内や周辺を歩きながら体験し、介助方法を学ぶ。

▽日時＝5月18日（土）13時30分～15時30分

【2講座共通】

※無料

※定員各20人

▽神田キャンパス13教室集合▽講師＝NPO法人ホープ

申学生生活課（神田）窓口か、Eメール（kgakusei@acc.senshu-u.ac.jp）5月17日（金）締め切り

問☎03・3265・6824

SMBC　SMBCグループ
確実にやるのはどこでもできる。
確実に速くやるからこそ「価値」になる。
三井住友銀行

MIZUHO　みずほ銀行　One MIZUHO
〈みずほ〉は、ひとりひとりのお客さまに寄り添った
解決策をご提案します。

TOKYO 2020　MIZUHO　TOKYO 2020
東京2020ゴールド銀行パートナー
●ご相談は、お近くのみずほ銀行へ。
One MIZUHO